

競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2022年度日本陸上競技連盟競技規則による。
2. アスリートビブス 個人アスリートビブス（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は、胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手（リレーの1～3走者を除く）は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招 集
 - 競技者は招集完了時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。
 - 招集完了時刻は、トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技は40分前とする。四種競技のフィールド種目は競技開始の30分前とする。
 - 代理人は認めない。
 - 招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
 - 四種競技の第一種目（ハードル）と第四種目（男子400m、女子200m）の招集については、他の種目と同じ手順で招集を行う。第二種目以降のフィールド種目の招集については現地において競技開始時刻の30分前までに行う。
 - 招集所は、競技会場により以下のように設ける。
 - ・本競技場で競技を行う種目については、雨天走路100mスタート側とする。雨天走路への出入りについては、100mスタート地点後方、第4ゲートに限る。
 - ・補助競技場で競技を行う種目については、補助競技場内1500mスタート付近とする。
4. 練 習 場 ウォーミングアップ場は補助競技場とするが、競技を行っている時間帯は、本競技場バックストレート側を開放する。本競技場、補助競技場でのレース中のウォーミングアップについては、マーシャル並びに競技役員の指示に従うこと。投げる行為は禁止。
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. ト ラ ッ ク 競 技
 - 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。
 - タイムレースとし決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。
 - 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
7. フィールド競技
 - 走幅跳、投てき競技は3回試技とする。その後記録上位8名はさらに3回の追加試技を行う。
 - フィールド競技の競技場所は、以下の通りとする。
 - 【男子走幅跳】1組・・・本競技場ホームストレート側
2組・・・本競技場バックストレート側
 - 【女子走幅跳】本競技場ホームストレート側
 - 【男女砲丸投】1組・・・本競技場、2組・・・補助競技場 四種・・・本競技場
8. ユニフォーム リレーのユニフォームは4人とも同一系ユニフォーム（シャツ同色、パンツ同色）を基本とする。
9. バーの上げ方 共通走高跳・四種競技ともに、最初の高さは当日決定する。上げ幅は5cmとする。
10. シ ュ ー ズ 靴底の最大の厚さについては、以下のようにする。
 - 800m未満のトラック種目・フィールド種目 20mmまで
 - 800m以上のトラック種目 25mmまで
11. ス パ イ ク
12. そ の 他
 - トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
 - 当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
 - リレーオーダーは、事前に配布されたオーダー用紙に記入し、12:00までに招集所に提出すること。その後、オーダー変更する場合は、ルールに準じる。
 - 当日の選手の変更は一切認めない。
 - 大会中はアスリートビブスをADカードの代わりとする。
 - 競技する選手以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
 - 更衣は更衣室で行い、更衣室は常に清潔に努め、ロッカー等には貴重品・衣類等は置かない。
 - ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
 - 「テント」はスタンドの最上段付近に設営すること。「のぼり」はスタンドの最上段の手すりのみ設置可。
 - 中学生は携帯電話等の電子通信機器を競技場内では原則として使用しないこと。
 - トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する7・8・9・10チャンネルの使用を禁止する。